

帳票の電子化はバックオフィスDXの第一歩 セキュリティ、ガバナンスに配慮して 請求書のWeb配信システムを短期間で構築

伊藤忠商事株式会社



在宅勤務での請求業務が可能に

大手商社の伊藤忠商事株式会社（以下、伊藤忠商事）では、ウイングアークの「invoiceAgent 文書管理」「invoiceAgent TransPrint」を活用し、請求書等の社外向け帳票をWebで配信できるシステムを構築した。従来方式である紙ベースでの請求書発行も並行して利用するため、誤って二重発行することのないような仕組みをアドオン開発するなど、セキュリティやガバナンスに配慮した設計を実現している。今後はユーザーの利用拡大を図るとともに、海外向けのDebit Noteに対してもWeb配信ができるよう計画している。

写真右より：伊藤忠フィナンシャルマネジメント株式会社 経理サービス部 経理システム企画室主任 濱畑 洋明氏、経理サービス部 経理システム企画室長補佐 川畑 篤史氏、伊藤忠商事株式会社 IT・デジタル戦略部 全社システム室 由村 友宏氏、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 流通第1本部 商社システム営業第2部付 工藤 啓之氏、流通プロジェクト推進事業部 次世代基幹プロジェクト推進部 次世代基幹システム開発第7課 主任 山口 智之氏

Summary

概要



背景・課題

- 在宅勤務でも請求書を発送できるような仕組みが早急に必要なだった
- 電子化しても請求書の二重発行や改ざん防止など、セキュリティ、ガバナンスの担保が必要だった



導入のポイント

- invoiceAgent 文書管理とinvoiceAgent TransPrint 導入による電子帳票のWeb配信を実現
- 伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)およびウイングアークによるアドオン開発



効果

- 請求書、請求明細、納品書等のWeb配信を実現し、在宅勤務での請求業務が可能となった



invoiceAgent TransPrint

ペーパレス化を促進する請求書Web配信サービス。請求書・納品書・検収書などの帳票類の発行の自動化、印刷・郵送アウトソースサービスとの併用も可能で、短期間で実装可能なソリューション。

invoiceAgent 文書管理

あらゆる帳票の仕分けから保管、検索、他システムとの連携も可能な文書管理ソリューション。電子帳簿保存法に対応した安心の電子文書管理を実現し、コスト削減、ガバナンス強化、ペーパレス化を推進。



二重発行や改ざん防止などのセキュリティ、ガバナンスにも配慮

伊藤忠商事では、2018年から帳票基盤の見直しを進め、別々であった紙帳票、電子帳票の基盤を統合し、「SPAIS」(Supreme reporting Platform for All ITOCHU Systems)と呼ぶ新しい帳票基盤を運用している。この帳票基盤には、取引先に向けて発行する請求書データも存在しているが、2020年春に新型コロナウイルス感染拡大の影響で在宅勤務を余儀なくされるなか、紙運用での課題が顕在化した。

そこで、導入したのがウイングアークの「invoiceAgent 文書管理」と「invoiceAgent TransPrint」の組み合わせだった。「他の製品には帳票のレイアウトが限られてしまうものもありますが、invoiceAgent TransPrintは既存のレイアウトで作成されたPDFファイルをそのまま利用できます。そのため、請求書レイアウトについては改めるとの要件定義は不要で、短期間で導入ができる

と考えました。また、タイムスタンプ機能を持っており、改ざん防止といったガバナンスの点でも高く評価しました」(由村氏)

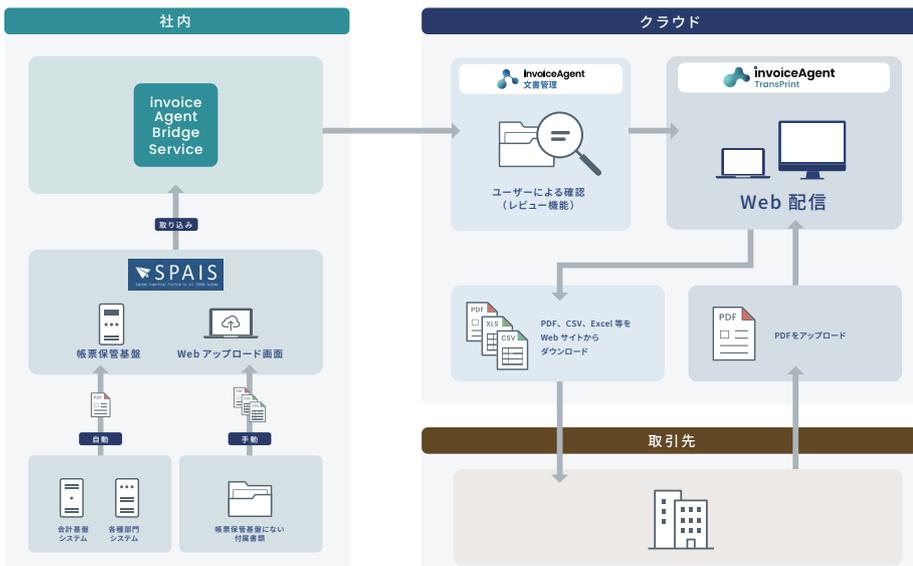
2020年5月から3ヶ月にわたるPoC (Proof of Concept:概念実証)を実施した後、9月に正式に導入が決定。2ヶ月後の11月に、まずは納品書、検収書、物品受領書、支払通知書などの請求書付属書類をWeb配信できるようにした。

11月の先行リリース以降は、さらなるセキュリティやガバナンス強化に関する開発にあてられた。二重発行や改ざん防止に加え、取引先側がinvoiceAgent TransPrintの画面にログインする際には二要素認証機能を付加。ファイル一括ダウンロード機能や、担当者が注意書き等のコメ

ントをつけることができるコメント機能、ユーザーがExcelで作成した明細ファイルなどを手動でアップロードするためのアップロード機能など、利用者の利便性を高める機能も追加した。

こうした過程を経て、2021年3月からは国内向け請求書や請求明細の電子化がスタート。2020年9月の導入決定から約6ヶ月という短期間で本格運用にこぎつけた。

「請求書をペーパレス化することで、請求書の受領確認やリードタイムが見える化されます。これによる業務効率化もあります。見える化された情報を活用することで、変革のヒントを見つけられ、トランスフォーメーションにつながるのだと思います」(由村氏)



※2022年6月より「SPA」および「SPA Cloud」は「invoiceAgent 文書管理」「invoiceAgent AI OCR」に名称を変更しました。



伊藤忠商事株式会社

創業 : 1858年
所在地 : 東京都港区
URL : <https://www.itochu.co.jp/>

繊維、機械、金属、エネルギー、化学品、食料、住生活、情報、金融の各分野において国内、輸出および三國間取引を行うほか、国内外における事業投資など幅広いビジネスを展開



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

創立 : 1972年4月1日
所在地 : 東京都千代田区
URL : <https://www.ctc-g.co.jp/>

コンピュータ・ネットワークシステムの販売・保守、ソフトウェア受託開発、情報処理サービス、科学・工学系情報サービス、サポート、その他

サイト内でより詳しくご紹介しております。

<https://www.wingarc.com/product/usecase/300.html>

